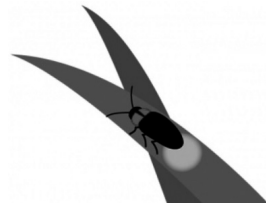


農業



令和2年8月号
会誌 No. 1667

目次

巻頭言

八ヶ岳で暮らし始めて……………大杉 立 3

論 壇

初めてのアレルギー対策機能性表示食品になった

「べにふうき」緑茶……………山本（前田）万里 4

大豆単収向上研究会

第4回大豆単収の向上に関する研究会…………… 6

－中間的とりまとめに関する議論－

大豆の多収阻害要因プロジェクトの成果……………吉永 悟志 6

総合的な討論…………… 18

農事功績者座談会

水田活用で広がるドリームファームの歩み

－「常陸牛」100%の一貫経営－……………佐藤 宏弥 22

現地指導者のコメント……………岩渕 勉 29

意見交換…………… 31

研究の最前線

事前乾燥処理により高温(65℃)で処理できる水稲種子温湯消毒法の開発

－各種病害に対して高い防除効果を示す新たな技術－……………金勝 一樹 37

農業・農村の現場から

「レアフル」で美味しい果実を一年中！

－常温長期保存が可能な果実加工品で高付加価値化－ ……………小宮山誠一 47

世界の農業は今

アジアの熱帯果樹の多様性を訪ねる……………山中 慎介 52

私の経営と志

地域の活性化を考える

－農で地域に元気を！－ ……………嶽石 望 58

統計情報

農業経営統計調査 令和元年産 小麦生産費

(個別経営および組織法人経営) …………… 60

農政情報

大日本農会だより…………… 62

編集部から…………… 46

ミニ情報

令和元年 農業物価指数 －平成27年基準－…………… 36

表紙写真説明

収穫最盛期「相馬地方の梨」(福島県南相馬市)

福島県の太平洋に面する浜通り北部の相馬地方では、8月下旬頃から特産の「梨」が収穫最盛期を迎えます。震災の影響により一時は生産量が大きく落ち込みましたが、産地一体となった復興への取り組みによって、生産量が回復してきました。

相馬地方の梨は、果汁たっぷりで甘みが強い「幸水」を皮切りに甘味と酸味のバランスが取れた「豊水」、歯ごたえと甘味が持ち味の「あきづき」、大玉で晩生品種の「新高」などが10月下旬頃まで収穫されます。

摘蕾や摘花、摘果など生産者が長い間、手塩にかけて育て上げた梨は選果場で選別及び箱詰めされ、市場流通品や贈答品として全国へ出荷されます。

(写真及び文：ふくしま未来農業協同組合改革推進部広報課 折笠 優)